



## アドビ、Adobe Experience Manager の 新しいイノベーションを発表 ～AI によるインサイトでコンテンツ配信を再構築～

- Microsoft Word や Google Docs などの一般的な生産性ツールを使用して、権限を与えられたチームメンバーであれば誰でも企業の web サイトやモバイルコンテンツの編集が可能に
- Adobe Experience Manager (AEM) Assets と Adobe Firefly、Adobe Express の連携により、色、オブジェクト、風景などの画像コンポーネントを瞬時に変更し、異なるチャンネル向けのバリエーションを自動生成することが可能に
- 新しい AI イノベーションが、リアルタイムのコンテンツ パフォーマンス データを提供し、各オーディエンス セグメントに最適な画像、色、コピーを予測
- PGA ツアーなどのグローバルブランドが、これらの新機能を試験的に導入し、組織内におけるコンテンツベロシティの促進と加速を実現

※当資料は、2023 年 3 月 21 日に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2023 年 3 月 22 日】

アドビ (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、世界最大級のデジタルエクスペリエンスカンファレンス「[Adobe Summit 2023](#)」において、コンテンツおよびデジタルアセット管理システム [Adobe Experience Manager \(AEM\)](#) の、エクスペリエンス作成、公開、分析に関する新しいイノベーションを発表しました。今回の大型アップデートにより、コンテンツ開発と公開を迅速かつ容易に行える次世代機能、より高品質な web 体験、企業がターゲットオーディエンスに向けて新しいコンテンツを容易に最適化できる、AI を活用したデータインサイトが新しく提供されます。

アドビのデジタルエクスペリエンスビジネス担当シニア バイス プレジデントであるアミット アフジャ (Amit Ahuja) は次のように述べています。「デジタルエコノミーは今やあらゆる分野の成長エンジンであるため、web サイトやモバイルアプリは Experience-Led

Growth (エクスペリエンス主導の成長) の基盤となっています。デジタルコンテンツの鮮度と関連性を保つことは、成長機会を生かすための鍵であり、Adobe Experience Manager (AEM) の最新のイノベーションにより、より多くの人々がAI 主導型のインサイトを利用して、自らのクリエイティビティを高めながら、コンテンツを管理できるようになります。」

PGA ツアーの製品開発担当バイス プレジデントのエリック ハンソン (Eric Hanson) 氏は次のように述べています。「当ツアーの視聴者は、長年のゴルフファンから、お気に入りの選手やトーナメントに関するコンテンツを定期的に視聴したいカジュアルなファンに至るまで、世界中で拡大し、多様化し続けています。Adobe Experience Manager の新機能は、当社が提供するデジタル体験のゲームチェンジャーとなり、web サイト、モバイルアプリ、デジタルマーケティング キャンペーンなど当社のさまざまなチャンネルで、タイムリーで魅力的なコンテンツを驚くべきスピードで提供できるようになりました。」

### **Adobe Experience Manager におけるジェネレーティブ AI のイノベーション**

画像や動画などのコンテンツを管理するデジタルアセット管理システムの [Adobe Experience Manager \(AEM\) Assets](#) と、画像生成やテキストエフェクトに特化したクリエイティブなジェネレーティブ AI モデルの新製品である「[Adobe Firefly](#)」を組み合わせることで、企業はコンテンツ開発を大幅に加速させ、効率化を図ることができます。

Adobe Express と Adobe Firefly は Adobe Experience Manager (AEM) Assets に直接統合され、色、オブジェクト、風景などの画像コンポーネントを瞬時に変更し、web サイト、モバイル、電子メールなどのチャンネルに対応したバリエーションを自動的に生成することができます。Adobe Firefly は、企業のコンテンツ サプライチェーンを加速させ、大規模なパーソナライゼーションへの取り組みを後押しします。また、この新しい Adobe Experience Manager (AEM) により、企業は消費者の心に最も響く属性 (色、オブジェクト、コピー) に関する強力な Adobe Sensei の AI インサイトを得ることができ、ジェネレーティブ AI を活用したコンテンツで、より確実にビジネス成果をあげることを支援します。

### **コンテンツペロシティ加速のためのコンテンツの民主化**

新しい Adobe Experience Manager (AEM) により、Microsoft Word や Google Docs などの一般的なツールで作成されテンプレート化されたドキュメントから直接、web サイトやモバイルアプリなどあらゆるオンラインチャネルのコンテンツを自動的に更新できるようになります。CMS の専門知識がなくても、同じドキュメントから作成、編集、公開が可能になり、セキュリティコントロールにより、権限のあるユーザーだけに変更を許可することもできます。これらの機能は Adobe Experience Manager (AEM) Forms にも適用され、政府機関や金融サービスなどの分野で、紙ベースのプロセスをデジタル化し、消費者のアクセス拡大に貢献します。

デジタルエクスペリエンスを誰にでも更新しやすくすることで、真のコンテンツペロシティが実現し、集中した公開スケジュールの制約を受けずに、好きなときにコンテンツを公開、編集することができます。デジタルチャネルの頻繁な更新はエンゲージメントとコンバージョンを高め、その遅延は収益に直接影響することから、このような汎用性は特に小売業などにおいて、ホリデーシーズンのような重要な場面で高く評価されるでしょう。新しい Adobe Experience Manager (AEM) により、業界を問わず、顧客はよりタイムリーで正確なコンテンツを含む、優れた web 体験を楽しめるようになります。

### **AI を活用した、クリエイティブの意思決定を促すインサイト**

Adobe Experience Manager (AEM) はまた、アドビの AI および機械学習フレームワークである [Adobe Sensei](#) を活用した業界初の機能を導入することで、リアルタイムのインサイトを使用してコンテンツ作成プロセスを推奨することができ、コンテンツ分析とクリエイティビティの連携を図ります。クリエイティブなコンテンツに対する需要がますます高まる一方、組織では閲覧数やクリック数といったトップラインの指標のみに注目する傾向があり、どのコンテンツが本当にオーディエンスに響くのかを理解するために必要な定性的なデータが不足しています。

Adobe Sensei は、コンテンツを属性レベルで分析し、色、オブジェクト、構成、書き方などの属性が、異なるオーディエンスに対するパフォーマンスにどのような影響を与えるかを計測することができます。これらのリアルタイムのインサイトは、コンテンツが時間とともに最適化されていく様子を示し、企業がコンテンツ サプライチェーンを構築する際のフィードバック ループを提供します。また、このデータを [Adobe Experience Platform](#) と連携させることで、企業はオーディエンス プロファイルを充実させ、パーソナライゼー

ション キャンペーンを強化することができます。例えば、東海岸の 18～24 歳の Z 世代の女性は、オレンジ色のトーンやよりカジュアルな文章に最も反応するといったインサイトを得ることができ、企業はそれに基づいてコンテンツの作成プロセスを変更し、パフォーマンスを向上させることができます。

## ■ 「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。

[Creative Cloud](#) は、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などのための 20 以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#) では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#) は、コンテンツ管理、パーソライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能 (AI) と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2023 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.